華陽診療所七代目所長ご挨拶

岩井　雄司

岐阜民医連発祥の地、華陽診療所（発足時は華陽民主診療所）の所長という栄えある任務を承り、初心に帰り少々浮き浮きしております。華陽診療所の近隣健康友の会の会員の皆様、職員の皆様、何卒よろしくお願いいたします。

前任の粕谷志郎先生ありがとうございました。今後、華陽診療所の診療に加わって頂きます青木敏之先生、青山紀之先生、阿川将臣先生、鈴木圭先生、野々山由紀子先生、長谷川真基先生、松井一樹先生、今後とも宜しくお願い申し上げます。

華陽診療所の初代所長から六代目所長の歴史は以下の如くです。この機会に振り返ってみました。

初　代：玉置　嘉輝医師	1969年9月8日～9年間
二代目：川上　明男医師	1978年9月1日～1年7ケ月間
三代目：玉置　嘉輝医師	1980年5月1日～22年10ヵ月間
四代目：長谷川真基医師	2003年4月1日～3年6ヶ月間
五代目：青木　敏之医師	2006年10月1日～10年6ヶ月間
六代目：粕谷　志郎医師	2017年4月1日～3年間
七代目：岩井　雄司	2020年4月1日～

新入職員紹介

4月1日より、初期研修医1名、看護師4名、准看護師1名が新たに入職されました。また、昨年の5月以降常勤・非常勤含め25名の新しい職員が入職し、それぞれの職場で仕事をしています。

4月1日は例年通り法人のオリエンテーションが開催され、岐阜勤医協の歴史や組織の特徴などを学習しました。民医連職員として地域の皆様とともに歩んでいく所存ですのでよろしくお願いいたします。

投書箱「みどりの箱」

ご意見・ご要望をお寄せください

みどり病院利用委員会（構成：岐阜健康友の会各支部、患者会、病院職員、医療法人理事会の代表16名）では、投書箱「みどりの箱」を各階に設置しています。

利用委員会では、病院を利用している、患者者さんや健康友の会会員さんの声を病院にとどけ、より利用しやすく、かかりやすい病院としていくことを目指しています。

寄せられた声に対し、毎月開催する委員会で箱をあけ、その対応を検討、仕分けを行っていきます。

うれしかったこと、苦情、意見、要望などをお聞かせ下さい。

高齢夫婦の二人暮らしを援助する

介護事業部長　岩原 田鶴子

妻が認知症で、夫は糖尿病と高血圧があり下肢筋力の低下がありました。子供はいません。親族とは結婚式や葬式などの場面で、ことあるごとにケンカして疎遠になっていました。

認知症の妻は、耳が聞こえないと言って耳鼻科に通うのが日課でした。自分で車を運転して通院していました。あるときは道が分からなくなり、ある時は階段を車で降りてレッカー車を呼ぶ羽目になり、夫はほとほと困りました。車屋さんを呼んで、エンジンがかからないように仕組んでもらいました。妻は「車のエンジンがかからない」と言って怒り、いつもの車屋さんに電話をかけます。車屋さんも「見に行きますね」と言ってそのままにします。そうこうしているうちに、診察の時間はすぎ、別の日課に気持ちが切り替わります。

この夫婦のお宅には、ヘルパーさんが入っていました。夫は、困り果てていましたので、心のよりどころでした。妻はいつも「この人とは、ダンスホールで知り合ったのよ」と教えてくれました。

知って得する社会保障

地域連携よろず相談室

今回はみどり病院地域連携よろず相談室の紹介をしたいと思います。相談室では、看護師1名、医療福祉相談員2名、生活相談員1名が、医療費のこと、入退院の調整に関すること、介護保険や障害福祉など社会保障に関することをはじめとして、地域のみなさんから寄せられる、さまざまな相談に対応しています。お話を聴き、解決に向けて一緒に考え、使える社会保障制度の案内や手続きのお手伝いをし、必要に応じて他の専門機関につないでいます。医療費、介護費の負担が増える中、今ある制度を最大限に活用できていますか？困難を抱えた人の立場に寄り添う相談室として、患者さんや地域のみなさんにとっての「よりどころ」でありたいと思っています。場所はみどり病院の2階エレベーターの横です。小さなコーナーですが、他の職種の方や機関と連携をとりながら地域を支える一部となれるよう頑張っていきたいと思っています。お困りごと、お気軽にご相談ください。

こがねだ健康まつり中止のお知らせ

例年5月に開催しております「こがねだ健康まつり」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、本年度は中止を決定しました。友の会関支部役員の方々とともに、「なんとか開催できないか」と検討を重ねましたが、収束の気配が見えず、中止という苦渋の選択になりました事をご容赦下さい。

来年は予定通り開催し、皆様に楽しんで頂けるよう一層の準備をしてまいります。地域の皆様におかれましては、感染予防を徹底頂き、是非来年ご参加頂ければと思います。

こがねだ診療所所長　森　逸治、友の会関支部長　小森　敬直